

被災者の心のケアへ

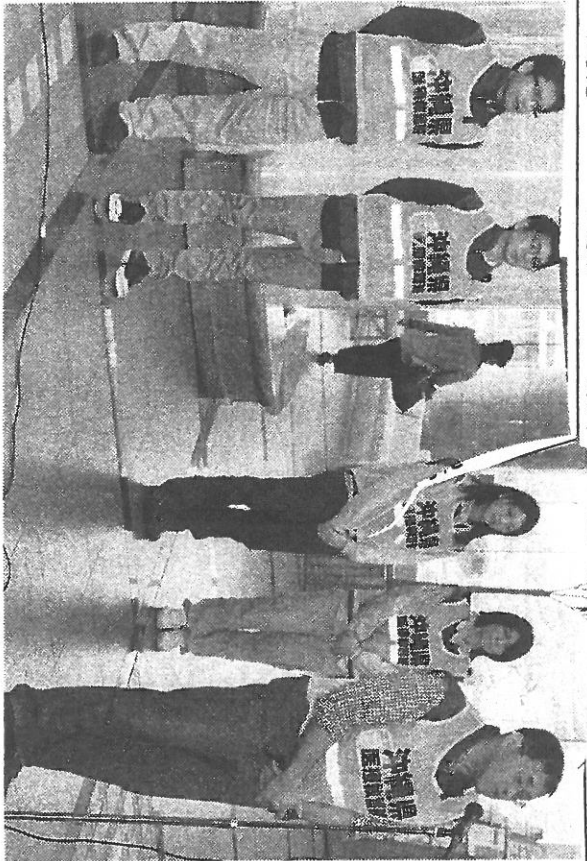
県の第1陣 医師・看護師ら出発

東日本大震災の被災地への県内の医療従事者の派遣が本格化している。県は22日、岩手県に医師、看護師、保健師、事務職員13人を第1陣として派遣。金武町の琉球病院は被災者の心のケアに当たるため、県内から初めて精神科医療チームを派遣した。

県の医療救護チームは医療医師は「先発隊として情報収集も兼ねながら、復興路で岩手県宮古市に向かう。チームは福岡で合流し、陸路で岩手県宮古市に向かう。24日には現地入りし、4月3日まで活動する。一行は厚生労働省の要請に応じて派遣された。県産品ネット通販キャンペーンも配達不可、遅れも

東日本大震災の発生以降、県産品を取り扱ったインターネット通販では注文のキャンセルや荷物が客まで届かなかつたりするなどの影響が出ている。「楽天市場」などで県産品の通販サイトを運営するゆいまーる沖繩では注文件数が半分以下に減少した。キャンセルも相次ぎ、平均で約20万円あった1日の売り上げが3万~6万円まで落ち込んだ。

東日本大震災の発生以降、県産品を取り扱ったインターネット通販では注文のキャンセルや荷物が客まで届かなかつたりするなどの影響が出ている。「楽天市場」などで県産品の通販サイトを運営するゆいまーる沖繩では注文件数が半分以下に減少した。キャンセルも相次ぎ、平均で約20万円あった1日の売り上げが3万~6万円まで落ち込んだ。



と(右端) 医師 岩手県立立憲病院(右端)と 雨田立憲病院1階 県民ホー

岩手県宮古市への派遣を前にあ

さいでいるため、オンラインショップを通じて注文された荷物が配達できなかつたり、遅れが出ている。